



目指すはオリパラ!?

頑張れ!

スポーツ・キッズ

7月23日から8月8日まで、東京2020オリンピックが開催されました。8月24日には、東京2020パラリンピックが始まります。今回は4年に1度のスポーツの祭典にちなみ、市内のスポーツに励む子どもたちを紹介します。

スポーツは心を育て

市内では、子どもから大人まで多くの人がさまざまなスポーツを楽しんでいます。本市のスポーツの普及や振興に大きく寄与しているのは、綾部市スポーツ協会（小寺哲朗会長）。「だれもがスポーツを！」を合言葉に、気軽に楽しめるスポーツの普及活動やスポーツ団体への支援、市内の運動施設管理などを行っています。

小寺会長は、スポーツが子どもたちに与える影響は大きいとし「体力向上はもちろん、勝ち負けだけではなく諦めずに物事に取り組む姿勢、仲間を大切にすることが育つ。精神的にも成長できるのがスポーツの良いところ」と話します。

コロナ禍での活動模索

最近ではコロナ禍で、市内運動施設の閉鎖や時間短縮を余儀なくされるなど、思うような活動ができていないと言う小寺会長。こうした中で開催されたオリピックに触れ「コロナという苦難の中でも、選手たちの頑張りに夢や希望、勇気をもらった。競技している本人だけでなく、見ている人にも感動を与えるというスポーツの力を改めて感じた」と目

スポーツでまちづくりを

今後の展望について聞くと、小寺会長は「市民の健康づくりやスポーツを通して、綾部でスポーツをしたい、綾部に住みたいと思えるまちづくりにつながれば」とし「運動施設を快適に利用できるよう、サービスを向上に努めています。また、選手の育成・強化支援など、さまざまな側面でもバックアップもしていきたい。誰もがスポーツに親しめるまちになるよう、関係機関と一緒に取り組めます」と話します。そして「今スポーツを頑張っている子どもたちが、大人になって指導者として綾部に戻ってきてくれたらうれしい」と夢を語りました。



綾部市スポーツ協会 小寺哲朗 会長

子どもたちに、スポーツや競技の好きなところ、今後の目標などを聞きました。



スポーツは健康のためだけでなく人と関わるのが楽しい

黒帯の試験を頑張りたい！

荒井梨利花さん (八田中2年) 野口レイカさん (綾部中3年) 船木千綾さん (八田中2年)

オリンピックに出てみたい！

組み手が強くなりたい



田畑慶季君 (綾部小6年) 寺崎博政君 (綾部小6年) 坪内颯真君 (綾部小6年)

黒帯が目標！



回し蹴りを強く蹴るところが楽しい！

松田昊雅君 (西八田小4年)

教えてもらったことを上手にできるようになりたい！



四方絢音さん (綾部小3年) 丸山光希さん (綾部小3年)

蹴りが楽しいです

オリンピックに出たい！



梅原大地君 (綾部中1年) 森下美波さん (綾部中1年)

JOCの決勝に進みたい！

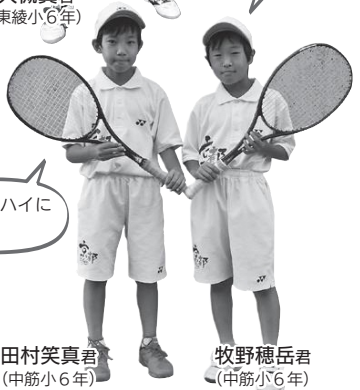
空手を始めて自分に自信がついた



東アジア大会で優勝し、将来はプロ選手になりたい！

大槻翼君 (東綾小6年)

これから上を目指して頑張りたい！



田村笑真君 (中筋小6年) 牧野穂岳君 (中筋小6年)

インターハイに出たい！

インターハイに出てみたい！



村上穂花さん (綾部小6年) 谷淵葵さん (綾部小6年)

アジア選手権に出てみたい！

本市出身・長谷部さん 伴走者でパラリンピック出場



和田選手=写真左=と肩を組む長谷部さん (本人提供)

東京2020パラリンピックに、本市館町出身の長谷部匠さんが、陸

上・和田伸也選手の伴走者(ガイドランナー)として出場されます。伴走者とは、視覚障害のある選手をゴールまで誘導するランナーのこと。選手の「目」となり、コースの状況や方向などを的確に伝える重要な役割を担っています。

和田選手はマラソンをはじめ、数々の種目で日本記録を保持。ロンドンパラリンピックの5000mメダリストで、今回の大会でもメダル獲得に期待がかかります。和田選手の走りとともに、伴走者・長谷部さんが和田選手に声を掛けて誘導する姿にもご注目ください。

陸上を始めたきっかけは

中学生までは野球をしていたので、本格的に陸上を始めたのは高校から。もともと長距離が得意だったので、顧問の先生の誘いで陸上部に入学しました。社会人になった今も、市民ランナーとして走り続けています。

どうして伴走者に

和田選手の伴走をしていた市民ランナーの知り合いに、声を掛けていただいたのがきっかけです。僕でも力になれるなら！との思いで、2019(平成31)年3月ごろから伴走をしています。

伴走者としての苦労や喜びは

初めのころは、視界に入るものすべてを具体的に言葉で説明すること

空手の魅力知ってほしい

取材したのは、今回のオリンピックで初めて採用された種目の「空手」。日本発祥の武道で、日本をはじめ世界約200か国に愛好者がいると言われています。残念ながら、パリで開催される次回オリンピックの種目から外されるのが決定しましたが、「東京五輪で世界中の人に空手を見てもらい、魅力が伝わったらうれしい」「空手をする人が増えるかもしれない」と子どもたちは前向きです。

さまざまな種目で活躍

市内にはこのほかに、さまざまなスポーツで活躍する選手がいます。あやべ健康プラザの水泳「選手コース」の森下美波さんと梅原大地君は、JOCジュニアオリンピックカップ(以下、JOC)に出場します。JOCは、将来のオリンピック選手育成のために開催される全国の大大会。森下さんは3年連続の出場です。

綾部紫遊クラブの大槻翼君は、日本卓球協会による男子ホープス(小学5、6年)の2020、2021年度の日本代表メンバーに選出。東アジア大会の選手選考会でも、グループ2位の好成績で日本代表を勝ち取りました。

綾部ジュニアソフトテニスクラブからは本年、田村笑真君・牧野穂岳君・村上穂花さん・谷淵葵さんペアが全国大会に出場。これらも上を目指して頑張りたいと声をそろえ「ソフトテニスがオリンピック種目になったらいいな」と笑顔です。同クラブとしては、4年連続の全国大会出場となりました。

最後に目標をお願いします

まずは、東京2020パラリンピック5000mで金メダルを取ることです。練習や合宿などを積み重ね、今とても良い状態だと思います！

和田選手 ×長谷部さん 出場日程

- 8月27日(金)午前 5000m
- 8月30日(月)午前 1500m予選 ※決勝は31日(火)午前
- 9月5日(日)早朝 フルマラソン